

イモタケ

Imaia gigantea (S. Imai) Trappe & Kovács

兵庫県ランク… 調
環境省ランク… -

■ 県内分布

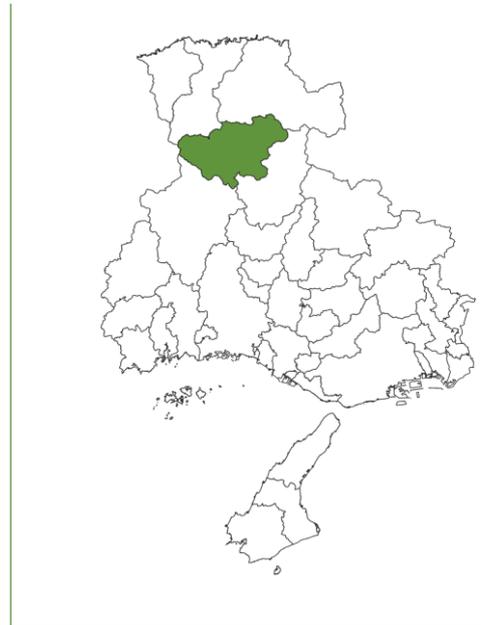
養父市

■ 国内分布

栃木県、群馬県、兵庫県、和歌山県、他

■ 選定理由

人為性	特殊性	学術性
生育環境破壊	特殊生育環境	特殊な分布
観賞用等採取	特異な生態	分布の限界
		希少
		○



■ 特記事項

関東以西および米国に分布。国内の発生地は限定され発生もまれ。最近の確認されていない。

■ 保護上の留意点

発生地での保全。

■ 種の概要

子実体は類球形から塊形で、ジャガイモの形によく似る。径は4cmから、ときに20cmを超えることもあり、国内の地下性菌の中では最大級の大きさを誇る。表面は淡黄色から帯褐橙色、断面は白色から暗褐色で大理石模様を呈する。秋、アカマツ林の地中に発生し、これらの樹木と菌根を形成する。従来は *Terfezia* 属に含まれていたが、2008年、分子系統解析の結果に基づき、新設された *Imaia* 属に移された。